

スマートフォンのセキュリティ

KDDI研究所 KDDI



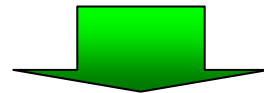
概要

■ スマートフォンの定義（利便性）

- (1) 誰もがアプリケーションの開発を行える。
- (2) 誰もがアプリケーションのインストールを行える。
- (3) PC向けの汎用OSをベースとした様々な処理機能を持つ。

■ セキュリティ対策（安全性）

- (1) アプリを安全に実行する制御の壁（サンドボックス）を設けている。
- (2) 悪意のソフトウェア（マルウェア）への感染を防ぐアプリ配信（Marketプレイス）の安全化が図られている。
- (3) PCと同様なセキュリティパッチの適用が行われている。



通常利用で脅威は少ないが、逸脱利用でPCと同様の脅威がある。

危険 ← PC < スマートフォン < 従来の携帯電話 → 安全

■ 展開モデル

- ◆ 垂直統合型（例：iPhone）：端末／OS／アプリ／通信をクローズドに管理
- ◆ 水平展開型（例：Android）： “ をオープン化して役割分担

Android™フォンのセキュリティ

KDDI研究所 KDDI



- 1: はじめに
- 2: Android™ OSのセキュリティ機構
ユーザによる承認
パーミッションの統計調査
Android Market™
- 3: 参考: 悪意のソフトウェア(マルウェア)

はじめに

■ Android™OSの思想

- (1) アプリが利用できる機能が豊富で、利便性の高いアプリを実現できる。
⇒ マルウェアを容易に開発できる。
- (2) アプリの開発・販売の自由化を図りAndroid Market™に多数のアプリを集める。
⇒ Android Market™はアプリの事前審査は無く、マルウェアの掲載もある。
- (3) Android™端末は、独自のセキュリティ機構を持ったPCである。
⇒ PCよりも低い確率で、PCと同様のインシデントが発生する。

■ Android™OSのセキュリティ仕様

- (1) インストール時にアプリの機能が表示され、ユーザが承認を与える。
⇒ アプリの良性／悪性の判断は難しい。
- (2) Windows PCのような自動的なマルウェア感染は殆ど無い。
⇒ ユーザ自らがマルウェアをインストールする行為に起因する。
- (3) アプリはサンドボックスで隔離・実行されるため、端末への影響を抑止している。
⇒ 端末を完全に制御できるroot権限を奪うことによって、サンドボックスを越えた想定外の事象が発生する。

はじめに ～セキュリティ視点での比較～

	従来の携帯	Android™フォン	PC(汎用OS)
OS/開発情報 (脆弱性)	クローズ (限定的)	オープン (多数が公知化)	オープン *1 (多数が公知化)
API (サンドボックス)	限定的 (全アプリへ強制)	豊富+ユーザ承認 (全アプリへ承認型)	豊富 (無し *1)
コンソール	無	有	有
root権限アプリ	無	無 *2	有
マルウェア感染	限定的	有(手動)	有(手動 & 自動)
Webスクリプト攻撃	限定的	有 *3	有
フィッシング	有	有	有
端末認証子管理	強(堅牢に保護)	弱(APIアクセス可)	—
暗号化ディスク	無	限定的	有
リモートロック	有	有	無
リモートワイプ	有	有	無
総合的な安全度	★★★	★★	★

*1 一部例外あり

*2 Android OSの想定外であるが、Jailbreakを想定したroot権限利用アプリがある。

*3 PCのような自動的なマルウェア感染はないが、SDカードからの自動的な情報漏洩の可能性はある。

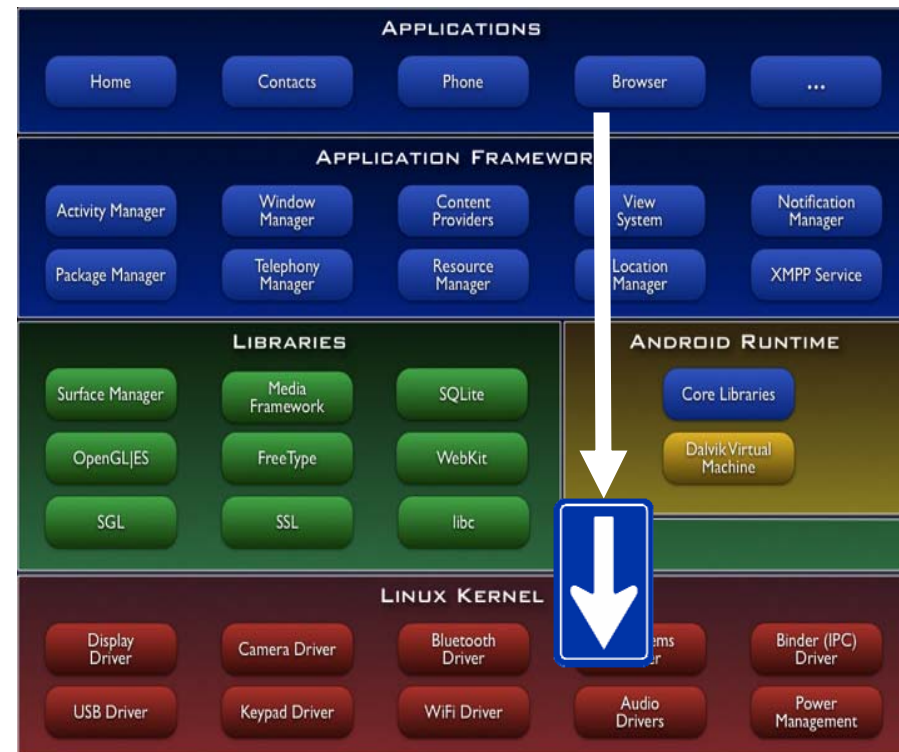
懸念

Android™ OSのセキュリティ機構

■ セキュリティ対策と脆弱性

- ◆ 仮想マシンを実装し、アプリをサンドボックス上で隔離・実行させる。
 - ◆ アプリのインストールには、利用する機能の承認ボタンのクリックが必要である。
- 功** Windows™XPのような**自動感染型ウイルス・ワーム**は殆どない。
- 罪** パーミッション承認で、**仮想マシンに穴を開ける**ことができる。

連鎖的なウイルス感染はない
ユーザの誤操作によるマルウェア感染



ユーザによる承認

■ パーミッション機構

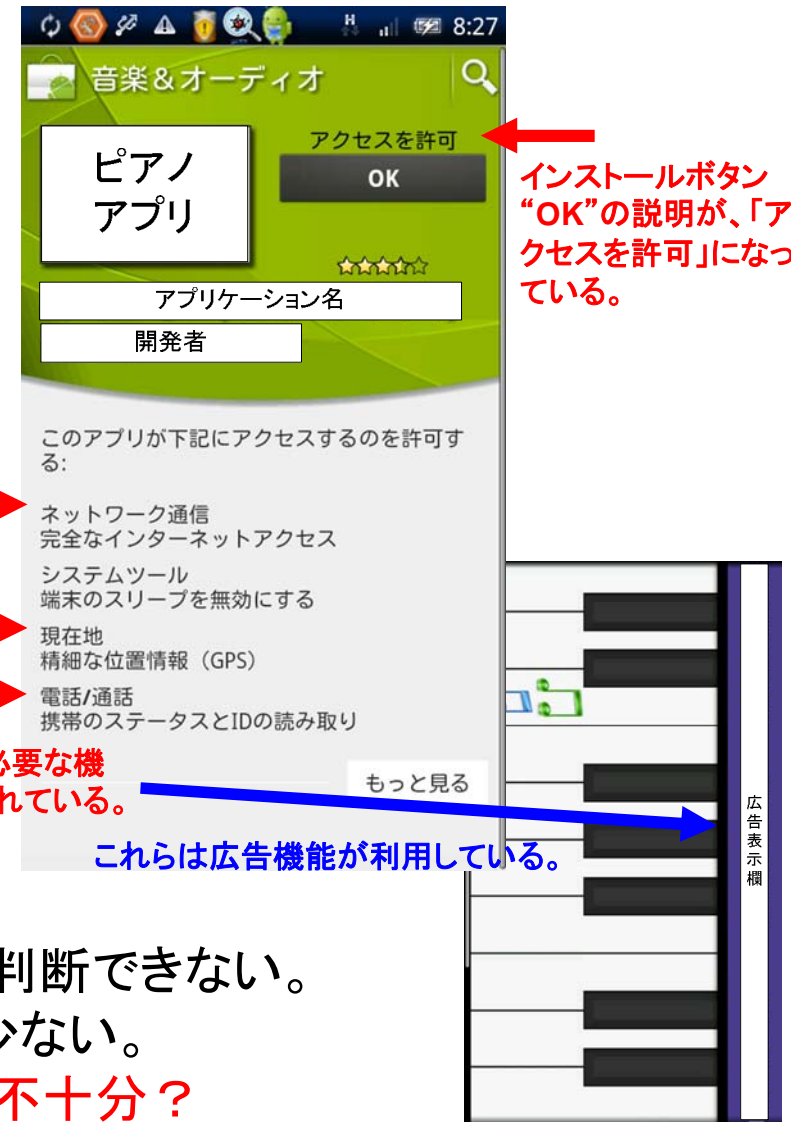
- ◆ Android™OSからユーザに対して、アプリが利用する機能を表示して、インストールの可否を問うている。

■ パーミッション機構の功罪

- 功** ユーザ承認で、個人情報や各種機能を利用する便利なアプリを組み込める。
- 罪** パーミッションに潜在する脅威を見抜けないユーザは、マルウェアに感染する。

■ 問題点

- ◆ 機能単位の利用申請であり、悪意の有無を判断できない。
 - ◆ そもそもパーミッションを気にするユーザは少ない。
- ⇒ Android™OSのパーミッション機構だけでは不十分？



パーミッションの統計調査

■ 調査

- ◆ Android Market™から646アプリを取得し、パーミッションの利用率を調査した。
- ◆ 携帯電話特有の情報へアクセスするアプリが多数あることが判明した。
但し、情報アクセスに関するパーミッションの多くは、広告機能によるものである。

パーミッションの利用頻度(2010年7月調べ)

アプリ数 全646個	率 (%)	Android パーミッション	説明
358	55.4	INTERNET	ネット接続
127	19.7	VIBRATE	バイブレート機能
113	17.5	WAKE_LOCK	スリープの無効化
111	17.2	READ_PHONE_STATE	電話情報・IDの読取
102	15.8	ACCESS_COARSE_LOCATION	大よその位置取得
98	15.2	ACCESS_FINE_LOCATION	詳細な位置取得
83	12.9	ACCESS_NETWORK_STATE	ネット状態の取得
75	11.6	READ_CONTACTS	アドレス帳の読取
67	10.4	RECEIVE_BOOT_COMPLETED	自動起動の登録
46	7.1	WRITE_EXTERNAL_STORAGE	SDカードへの書込

Android Market™



■ Android Market™上のアプリ(2011年1月中旬)

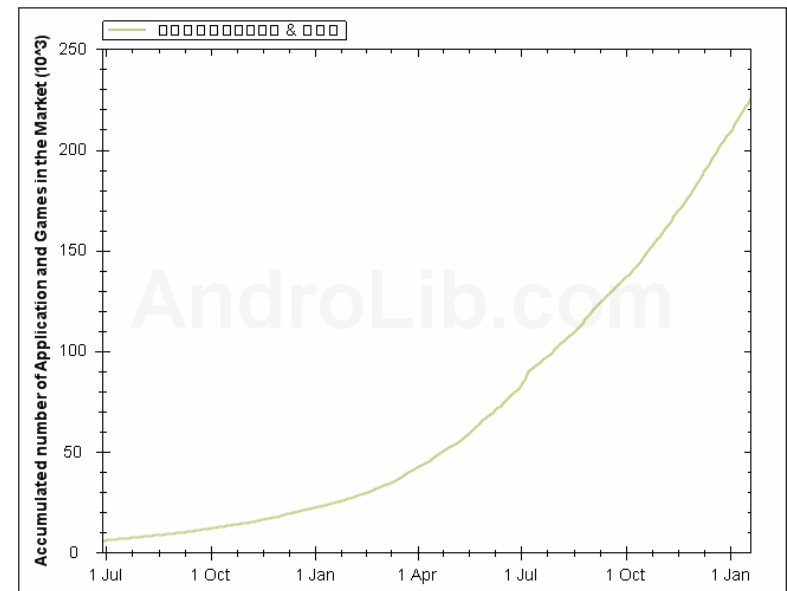
- ◆ 20万以上のアプリが公開されている。
- ◆ 延べ27億アプリがダウンロードされている。

■ Googleの取り組み

- ◆ Android Market™では、**開発者登録**を行う。
 - >Google(Gmail)アカウントの登録
 - >Googleチェックアウトでのクレジット支払
- ⇒ マルウェアが掲載されることは殆ど無い。
- ◆ ユーザからの申告を受けて、マルウェアを駆除する、**迅速な事後対応**を図っている。
- ⇒ 直ぐに駆除されることで感染のリスクを低減。

Androidマーケットでダウンロードされたアプリケーションはのべ **2,732,262,805**

マーケットにおけるアプリケーションとゲームの累積数



<http://jp.androlib.com/appstats.aspx>

参考:フィッシング(キーロガー)アプリ

■ オンラインバンキング

- ◆ Droid09と呼ばれる匿名の開発者がリリースしたオンラインバンキングアプリにキーロガーが内包されていたとの報告がある。

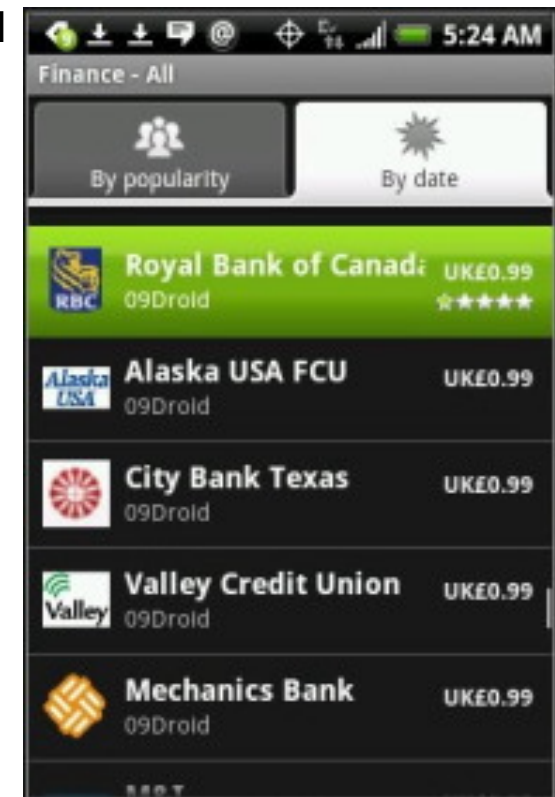
<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1001/12/news018.html>
<http://journal.mycom.co.jp/news/2010/01/14/019/index.html>

■ キーロガー・パーミッション

- ◆ `android.permission.READ_INPUT_STATE`
入力や操作の記録。別のアプリケーションへの入力(パスワードなど)でもキー入力を監視することをアプリケーションに許可します。
- ◆ 端末操作の記録には有効である。

■ 問題点

- ◆ キーモニタ・パーミッションを内包し、他のアプリを含む全てのキー操作を記録する。



参考: 情報漏洩アプリ

■ 表面上の機能

- ◆ 某マルウェア対策アプリは、端末内アプリをスキャンする。
- ◆ 本物のマルウェアは一つも検知できない。

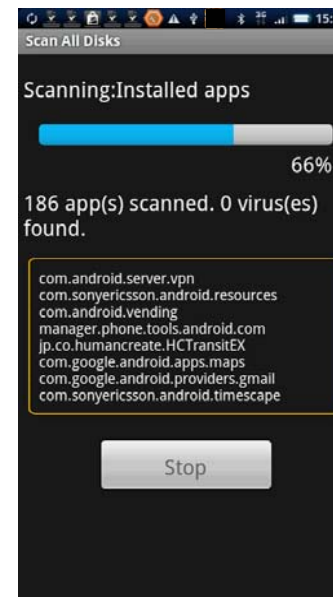
■ 31個のパーミッション

INTERNET、DELETE_PACKAGES、RESTART_PACKAGES、
READ_PHONE_STATE、RECEIVE_SMS、
READ_CONTACTS、WRITE_CONTACTS、CALL_PHONE、
READ_SMS、WRITE_SMS、SEND_SMS、GET_TASKS、
RECEIVE_BOOT_COMPLETED、INSTALL_PACKAGES、
ACCESS_NETWORK_STATE、WRITE_APN_SETTINGS、
PROCESS_OUTGOING_CALLS、INSTALL_SHORTCUT、
LOCATION、ACCESS_FINE_LOCATION、
ACCESS_LOCATION_EXTRA_COMMANDS、
ACCESS_MOCK_LOCATION、
ACCESS_COARSE_LOCATION、
ACCESS_COARSE_UPDATES、CALL_PRIVILEGED、
MODIFY_PHONE_STATE、GOOGLE_AUTH.mail、
WAKE_LOCK、WRITE_EXTERNAL_STORAGE、
USE_CREDENTIALS、VIBRATE

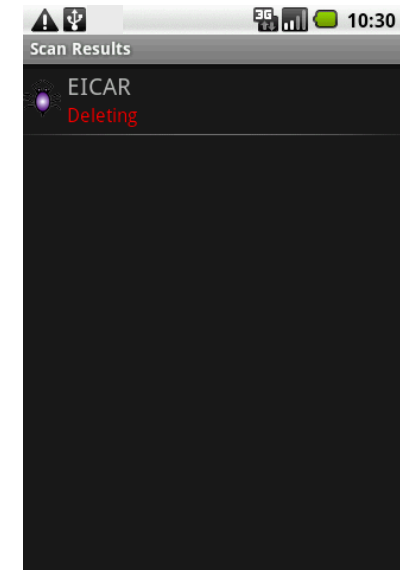
パーミッション承認



スキャンの様子



本物のマルウェアを非検知



■ 問題点

- ◆ 端末ID (IMEI)、契約 ID (IMSI) がアプリ作成者のサーバに送信される。

参考: 広告機能

■ READ_PHONE_STATEアプリ

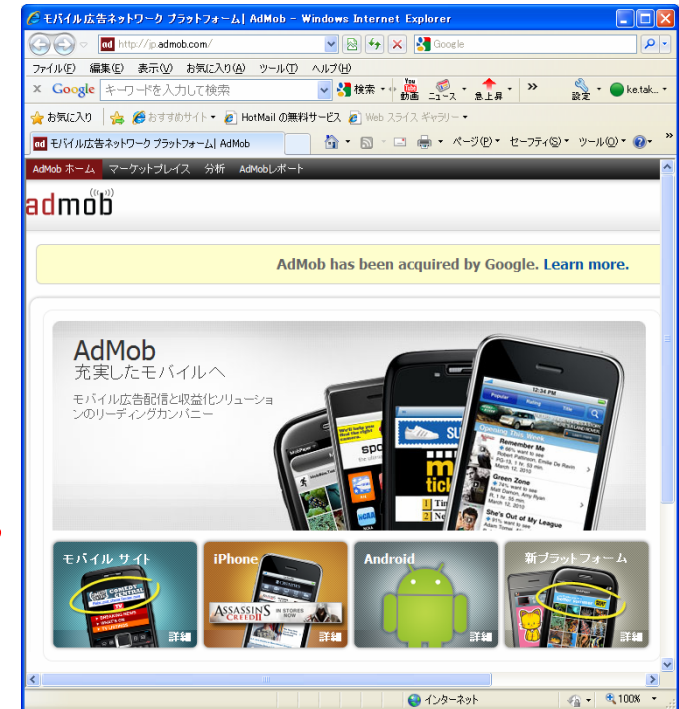
- ◆ 本パーミッションを持つアプリの多くは、広告機能を内包している。
- ◆ アプリ内の広告をユーザがクリックすることで、開発者に報酬が入る。

■ 仕組み

- ◆ 国コードで、適切な言語で広告を表示する。
- ◆ 緯度・経度で、場所に応じた広告を表示する。
- ◆ Android ID、IMEI、IMSI でユーザを識別する。

■ 現状

- ◆ 広告事業者は、パーミッションによる承認で、情報収集の可能性はユーザに確認済み。
- ★ 収集する情報とその利用目的を知らせていない？



<http://jp.admob.com/>

参考:トロイ型のボットアプリ

- Android™端末を踏み台にするボットネット「Geinimi」が現れた。

http://blog.mylookout.com/2010/12/geinimi_trojan/



見知らぬアプリ販売
サイトは危険です。

THE LOOKOUT BLOG

DECEMBER 29, 2010

Security Alert: Geinimi, Sophisticated New Android Trojan Found in Wild

By tim 34 Comments

The Threat:

A new Trojan affecting Android devices has recently emerged in China. Dubbed “Geinimi” based on its first known incarnation, this Trojan can compromise a significant amount of personal data on a user’s phone and send it to remote servers. The most sophisticated Android malware we’ve seen to date, Geinimi is also the first Android malware in the wild that displays botnet-like capabilities. Once the malware is installed on a user’s phone, it has the potential to receive commands from a remote server that allow the owner of that server to control the phone.

Geinimi is effectively being “grafted” onto repackaged versions of legitimate applications, primarily games, and distributed in third-party Chinese Android app markets. The affected applications request extensive permissions over and above the set that is requested by their legitimate original versions. Though the intent of this Trojan isn’t entirely clear, the possibilities for intent range from a malicious ad-network to an attempt to create an Android botnet.

Lookout has already delivered an update for its Android users to protect them against known instances of the Trojan. If you are already a Lookout user (free or premium), you are protected and no action is needed.

個人情報を外部
サーバへ送信する

BOTNETのような
能力を持っている。

中国のアプリマー
ケットで配布されて
いる。

外部サーバからの
コマンドを実行され
る可能性がある。

正規のアプリに寄
生する。

参考:root権限奪取

■ 参考:iPhone™のJailbreak <http://www.f-secure.com/weblog/archives/00001814.html>

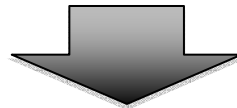
- ◆ ユーザが、root権限のsshサービスを内包するJailbreakツールを組み込む。
- ◆ sshのログインID/PWDが既知のため、外部からroot権限でログインされ、ボット化する。

■ Android™のroot権限奪取

- ◆ iPhone™のJailbreakと同じく、ユーザが、sshサービスを内包するroot権限奪取ツールを利用して携帯電話を改造した場合、外部からroot権限でログインされ、ボット化する。
注1) OS(Linux)層に、不正なサービスを外部から自動的に組み込むことが可能である。
注2) アプリ(Dalvik)層の上にあるAndroid™アプリの自動インストールは不可能である。

■ root権限利用アプリ

- ◆ root権限を利用するアプリを組み込むことは、Google、端末ベンダ、通信キャリアが想定した操作を超えるため、不具合やインシデントの原因になりかねない。



- ★ 改造は、root 権限を、端末所有者のみならず、外部の攻撃者にも与える。
- ★ 公共の電波を制御する端末の改造行為は、電波法違反の可能性はある？！

Jailbreakは決して行わない！

Androidセキュリティに関する KDDIの取り組み

KDDI KDDI研究所



- 1: はじめに
- 2: セキュアアプリ検証
- 3: アプリ開発ガイドライン
- 4: ユーザへの啓発
- 5: 端末の安全化

はじめに

■ KDDIの分析

- (1) 多くのユーザは、Marketプレイスを通じてマルウェアをインストールする。
- (2) 一部のユーザは、端末を攻撃してソフトウェアを改造し、自分好みに設定する。
- (3) 普及の初期段階では、Androidフォンのセキュリティの考え方が浸透していない。

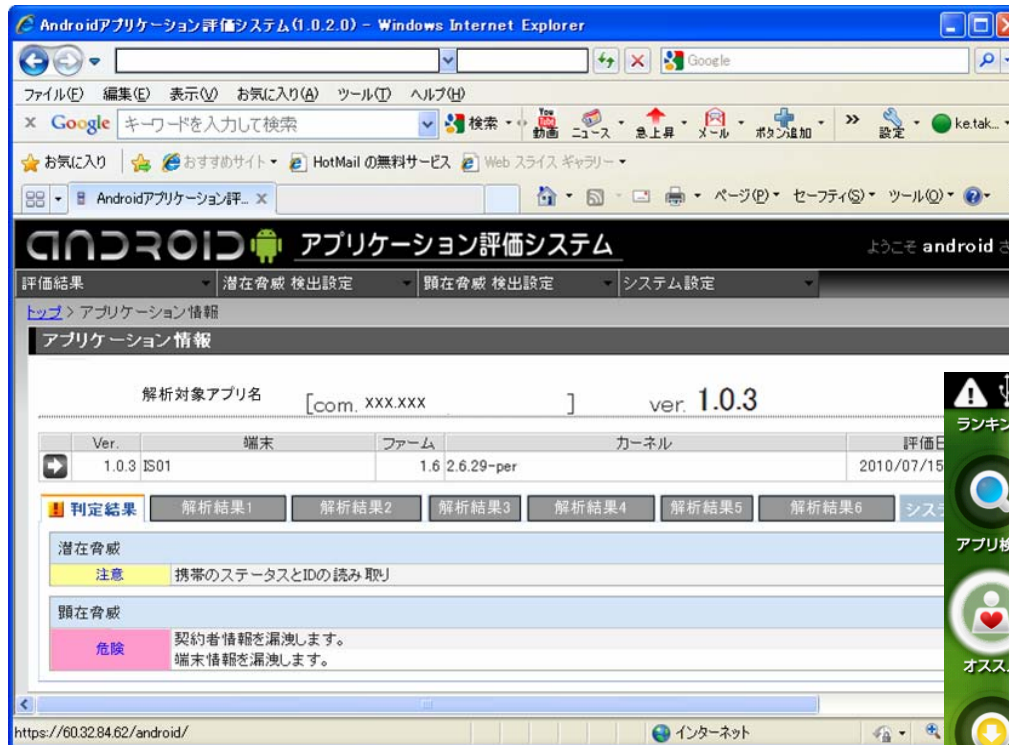
■ KDDIの取り組み

- (1) Marketプレイスを安全化すれば、多くの脅威を除去できる。
- (2) OS・アプリの脆弱性の撲滅は不可能であり、改造抑止の啓発活動を進める。
- (3) ショップや講演会などを通じて、危険なポイントの周知に取り組む。
通信キャリアとして、縁の下でユーザをフォローする。

セキュアアプリ検証 ～日本品質の au one Market～

■ 安全なau one Marketサービス

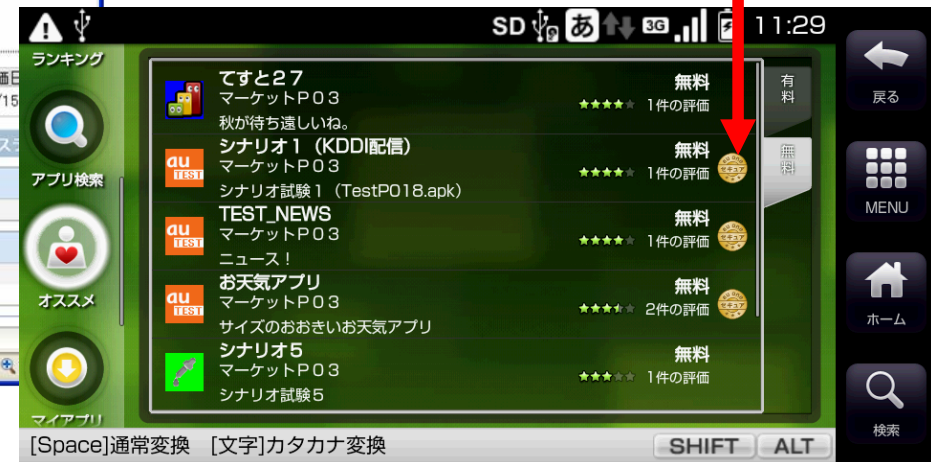
- ★ Androidのセキュリティ事故の多くは、ユーザによるMarketからのマルウェアのインストールで生じる。
 - ◆ **潜在脅威(静的解析)**: 難解なAndroidパーミッションの解釈を、お客様に代わってKDDIが検証する。
 - ◆ **顕在脅威(動的解析)**: 不審な挙動に注目して、お客様に代わってKDDIが検証する。
- ⇒ au one Marketセキュアアプリ検証を受けたアプリに、セキュアマークを付与している。



様々な独自技術でAndroid
アプリの安全性を評価



セキュアマーク



アプリ開発ガイドライン

■ アプリ開発者への啓発活動

- ◆ au one Market™セキュアアプリ検証で確認するポイントを明確にすることで、安全なアプリ開発を促している。

au one Market™セキュアアプリの検証では、以下の点に関する確認を実施しています。

1. 利用を宣言した機能(セキュリティー権限)の確認。
2. KDDIが提供しているAndroid™アプリ配信サーバから配信していること。
3. KDDIから出荷されるAndroid™端末の標準設定で利用できない機能の有無の確認。
4. 顧客情報を漏洩する動作、もしくは、漏洩する恐れのある動作の有無。
5. 不必要な大量通信の有無、もしくは、外部への不正アクセス機能の有無。

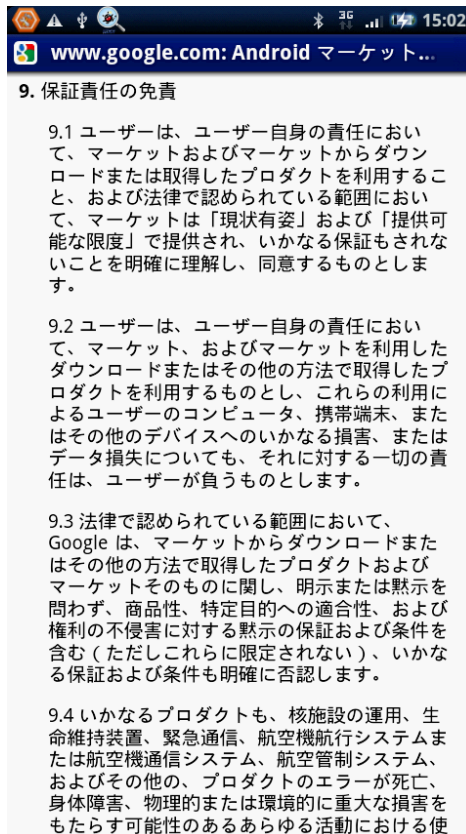
- ◆ 特に、重要な情報を外部へ送信する場合には、**アプリケーションのストーリーの中で**、ユーザ承認を求める許諾画面を設けるように指導している。

ユーザへの啓発

■ 利用規約を通じた啓発活動

- ◆ Market運用者は、ユーザ責任でアプリのインストール・利用について注意喚起している。
- ◆ KDDIは、さらに踏み込んで端末の取扱説明書での注意書きや、**ショップでの口頭説明＋承認プロセス**を設けて、Market利用の危険性に関する啓発活動に努めている。

Android Marketの免責



9. 保証責任の免責

9.1 ユーザーは、ユーザー自身の責任において、マーケットおよびマーケットからダウンロードまたは取得したプロダクトを利用すること、および法律で認められている範囲において、マーケットは「現状有姿」および「提供可能な限度」で提供され、いかなる保証もされないことを明確に理解し、同意するものとします。

9.2 ユーザーは、ユーザー自身の責任において、マーケット、およびマーケットを利用したダウンロードまたはその他の方法で取得したプロダクトを利用するものとし、これらの利用によるユーザーのコンピュータ、携帯端末、またはその他のデバイスへのいかなる損害、またはデータ損失についても、それに対する一切の責任は、ユーザーが負うものとします。

9.3 法律で認められている範囲において、Google は、マーケットからダウンロードまたはその他の方法で取得したプロダクトおよびマーケットそのものに関し、明示または黙示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および権利の不侵害に対する黙示の保証および条件を含む（ただしこれらに限定されない）、いかなる保証および条件も明確に否認します。

9.4 いかなるプロダクトも、核施設の運用、生命維持装置、緊急通信、航空機航行システムまたは航空機通信システム、航空管制システム、およびその他の、プロダクトのエラーが死亡、身体障害、物理的または環境的に重大な損害をもたらす可能性のあるあらゆる活動における使

au one Marketの免責



5) 本サービスは日本国内をサービス提供対象とし、当社は日本国外における権利者の知的財産権に対していかなる保証もせず、また一切の責任を負いません。

第6条 責任の制限

1) ユーザーは、本サービスを専ら自らの責任において利用するものとします。当社は、ユーザーによる本サービスの利用に関連して生じた責任、負担、損害及び損失（コンピュータ機器の故障やデータの損失を含みますが、これらに限りません）について、一切責任を負わないものとし、ユーザー自らの責任において処理することとします。当社は、本サービスにおける情報等又は以下の事項に関する、クレーム、主張、要求、責任、負担、損害及び損失について、一切責任を負わないものとします。

- 本サービスを通じて購入し又は取得した商品やサービスの内容、数量、性質
- 本サービスを通じてなされた取引又は約束の履行可能性
- 本サービスがユーザーの目的又は要求を満たしていること
- 本サービスが中断されないこと
- 本サービスがユーザーの期待する適切な時期になされること
- 本サービスがエラーのないものであること

2) ユーザーは、本サービスの利用に関連して自らの行為により生じるあらゆる責任、損害又

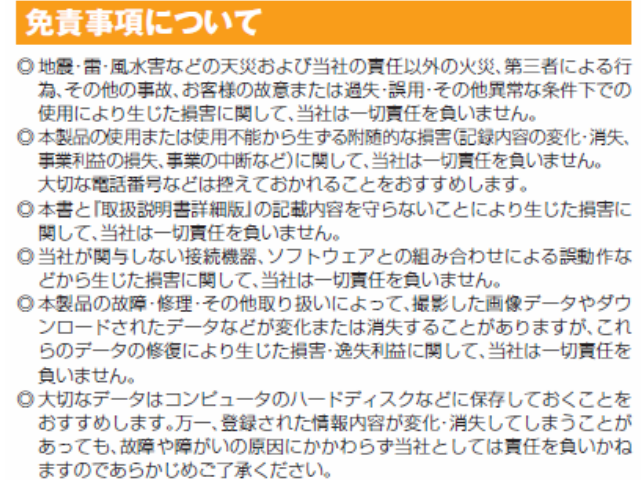
第7条 免責事項

1) 当社は本サービスの管理に全力をあげて運営を行いますが、本サービスに関して検出された欠陥、及びそれが原因で発生した損失や損害(携帯端末、又はその他のデバイスへのいかなる損害、又はデータ損失を含みますが、これらに限りません)について、当社では一切責任を負いかねます。

2) 本サービスの中断、終了、サービス提供条件の変更等によりユーザーに発生した損失や損害について、当社では一切責任を負いかねます。

3) 本サービスを利用して、違法行為、営利及び非営利目的の勧誘行為等、本サービスを利用したユーザーの違法又は不適切な行為により他のユーザーに損失や損害が発生した場合でも、当社はかかる損失や損害について一切の責任を負いかねます。本サービスのユーザーの任意による利用方法の合法性及び適切性について、当社では一切保証いたしかねます。

IS01取扱説明書



免責事項について

- ◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- ◎ 本書と「取扱説明書詳細版」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Androidマーケットについて

- ◎ アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウィルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- ◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

端末の安全化 ～日本市場への浸透に向けて～

■ 脆弱性の調査・対策指導・研究

- ◆ 普及期では、グローバル端末をそのまま日本市場に投入するのは不親切と考えている。
- ⇒ KDDI(研究所)は、セキュリティインシデントの調査・分析・対策指導を実施している。
- ⇒ Googleや端末ベンダへのフィードバックと、パッチの迅速なリリースを実施している。
- ⇒ Android™セキュリティに関する研究活動を積極的に推進している。

インシデントの収集・分析・対策者の特定(2008-2009)

年月	対象	脆弱性の詳細	原因	対策
2008/10	組込アプリ	Webブラウザの乗っ取り	WebブラウザのオープンソースのWebKitの脆弱性を突いたパフアオーバーでブラウザプロセスが乗っ取られる。	最新のライブラリを利用する。
2008/11	Android (root権取)	telnet経由のroot侵入	ターミナルソフトをインストールして、ここからtelnetを起動する。G1端末のIPアドレスにtelnet接続すると、認証してログイン。	ターミナルをユーザに提供しない。不要なサービスを削除して出荷する。
2008/11	端末H/W	アプリに対するキー入力やOSが実行のOSコマンドインジェクション	シリアルポート接続されたデバイスのキー入力を受け取るinit.rcの設定が残っており、キーボード入力をOSが直接受け取っていた。	シリアルポート経由のアクセス設定を見直す。
2008/11	端末H/W	ログイン認証の無効化	menuキーを押し続けることでセーフモードで起動する。この場合、ログイン機能やスクリーンロック機能がパスされる。	セーフモードで起動した場合でも認証機能を強けておく。
2009/01	組込アプリ	URLの非表示によるフィッシングサイトへの誘導	Gmailブラウザにおいて、ハイパーリンクを開覧できない問題と、FrontReplyを開覧できない問題がある。	GmailブラウザのURLやアドレス参照機能の設計に注意。
2009/02	組込アプリ	Webブラウザの乗っ取り	Webブラウザのサブシステム(PacketVideo)が利用するOpenCoreライブラリの脆弱性を突いたパフアオーバー攻撃を受ける。	OpenCoreライブラリのパッチを適用する。
2009/05	Android	公開アプリ認証の不具合	Android SDKに、公開アプリ間のデータ参照や制御を自由に行わせてしまうアプリ間認証の不具合があった。	uidの制御を修正するパッチをリリースした。
2009/05	Market	SDKにAndroid Market通信アプリのインストール	Android SDKからでも、Android Marketと通信できるようにするSetupWizard.apk, gtalkservice.apk, Talk.apk, Vending.apkが公開。	Vending.apk(Market)アプリを公開させない。SDKと簡用端末を見抜く機能が必要。
2009/08	Linux	ネイティブアプリのメモリダンパ	Linux用のメモリダンパツールを、ARM用にクロスコンパイルすることで、Android上のネイティブアプリのメモリダンパを取得できる。	秘匿性のある処理をメモリ上で行わない。ptraceなどの権限を最小化する。
2009/08	Linux (root権取)	ファイルIOメモリ制御の不具合 (CVE2009-2692)	CVE2009-2692のLinuxのメモリIOの初期化不具合を突いて、端末にrootでログインするマルウェア"esroot"が公開。	Linuxのパッチを適用する。
2009/09	公開アプリ	Web'FTP系アプリの公開	Web'FTPサーバ系の公開アプリをインストールすると、通信Portがオープンする。FTPはパスワード無でログイン可。	—
2009/10	Market	MarketアプリのPCへのダウンロード	Android Marketのフリーアプリのダウンロードに利用する4つのID (assetID, userID, device ID, authToken)を偽装できしめる。	有料アプリのダウンロードについて、クライアント認証の仕組みを確認すべき。
2009/10	Android	SMSとDalvikの脆弱性でリモートから端末停止 (CVE2009-2999)	SMSの脆弱性と、Dalvik APIの脆弱性がある。特殊なSMS/パケットをAndroid端末に送りつけると、Dalvik上のサービスが停止する。(HT-03AはSMSの影響なし)	SMSとDalvik APIのパッチを適用する。(HT-03AはSMSの影響なし)
2009/10	端末H/W (root権取)	カスタムROMのインストール (Recovery Utilityの改造)	CVE2009-2682でrootを奪取したHT-03A(V.5)に対して、SDカード起動を許可する改造で、root付きROMをインストールできる。	Recovery Modeを排除すること。
2009/11	端末H/W	SIMロックの解除	HT-03A(I.5)の場合、端末コード(EME)にリンク付けられたSIMロックを解除コード(PIN)の計算手法が解除されている。	SIMロックの解除コードを入力させるインタフェースを排除すればよい。
2009/11	公開アプリ	WiFiやBluetoothのホットスポットになり3Gへのテザリング	WiFiやBluetoothデバイスと3Gデバイスを接続してテザリングした。後位端末を見抜くことが出来ない。	iptablesでWiFi⇒3G通信を規制する。
2009/12	端末H/W (root権取)	OSアップデートイメージの認証手法が漏洩してOSをダウンロード	純正HT-03A端末では、OSの配布元とバージョンを確認する検証コードが付与されている。この検証コードのアルゴリズムが漏洩。	OSをダウンロードさせないバージョンチェックを組み込む。



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。



禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。



分解禁止

IS03はソフトウェアも含め、お客様による分解・改造・変更・修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS03またはソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

■ 端末改造の抑止の呼びかけ

- ◆ ソフトウェアを含む端末の改造を禁止しています。

スマートフォンセキュリティ に関する今後の課題

KDDI研究所 KDDI



- 1: 日本基準を世界標準に
- 2: ユーザ意識の醸造

日本基準の安全を世界標準に

■ マルウェアの定義

- ◆ 事業者間連携を図り、日本基準のマルウェアの定義を世界に発信することで、Marketプレイスやマルウェア対策ベンダの安全化へと、寄与すべき。



■ 水平展開モデルへの発言

- ◆ 端末／OS／アプリ／通信のプレーヤ毎に、セキュリティ対策を独自に判断している中で、事業者間連携で、日本の安全基準を垂直統合的に発言していくべき。
⇒ KDDIはお客様と共に、日本の安全に対する考え方をグローバルに発信します。

ユーザ意識の醸造

■ 汎用OSの意味

- ◆ スマートフォンは、PCで培われた汎用OSが搭載されている。
 - × 従来の携帯電話の高機能版
 - PCに電話機能が付いたもの

■ 世界標準OSの意味

- ◆ アプリインストールのリスクは、PCと同じく、ユーザに判断が委ねられている。

■ 逸脱行為の意味

- ◆ 端末／OS／アプリ／通信の各プレーヤが適切に設定した端末を改造する行為は、本人のみならず、他のユーザへも迷惑を掛ける可能性がある。

■ 見知らぬMarketプレイスの意味

- ◆ セキュリティ管理のないMarketプレイスから、アプリを入手するのは危険である。
- ◆ 有料のアプリが、無料で配布されている場合、マルウェアの可能性が高い。